



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

| 大阪市立 総合医療センター | 大阪市立 十三市民病院 | 大阪市立 住之江診療所 |



OSAKA CITY HOSPITAL

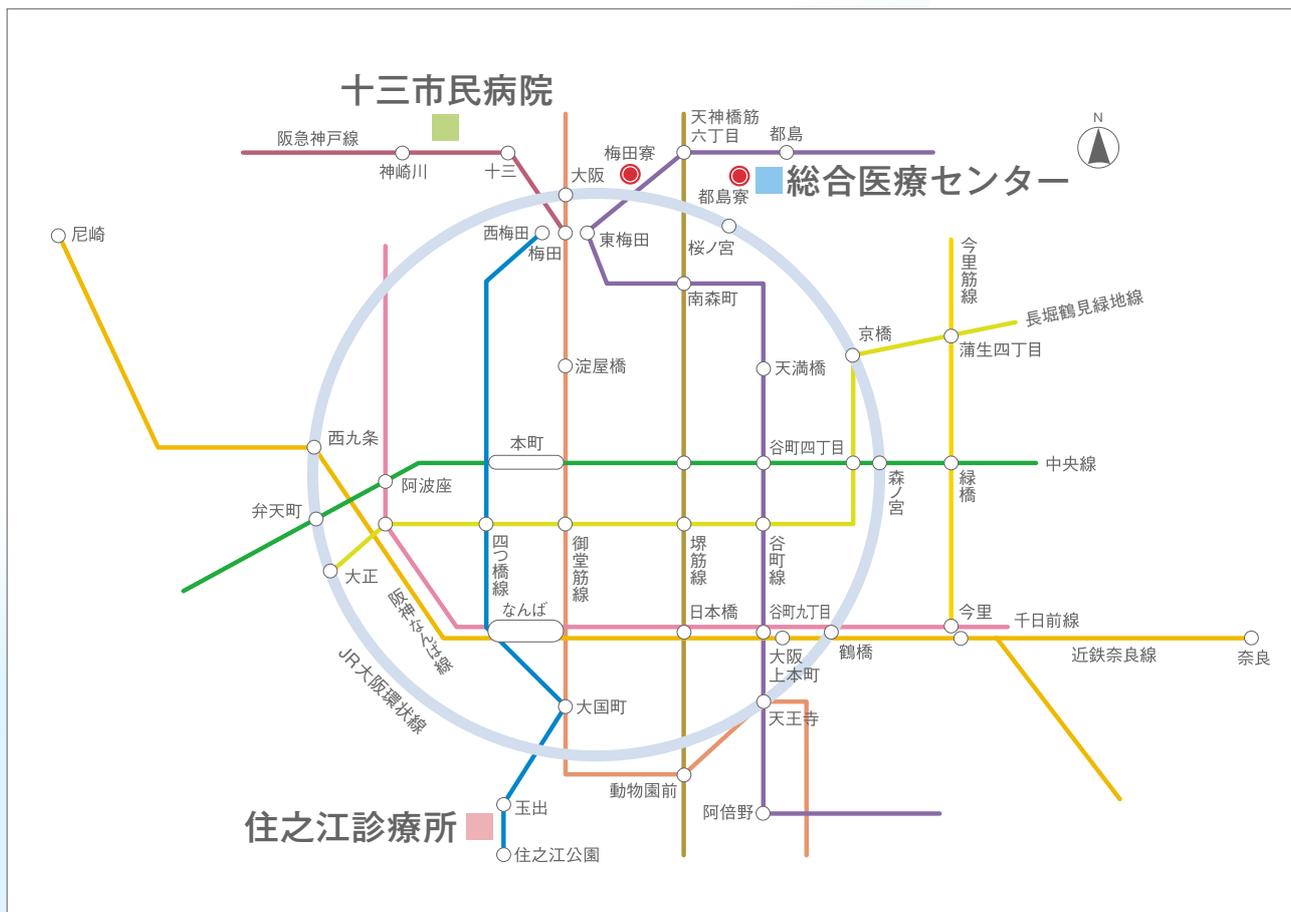
RESIDENT

RECRUIT BOOK

臨床研修医 募集案内



ACCESS GUIDE [アクセスガイド]



十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL.06-6150-8000



● 阪急神戸線「神崎川」駅から南東へ徒歩約8分

総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-1221



● 大阪メトロ谷町線「都島」駅2番出口から西へ徒歩約3分
● JR大阪環状線「桜ノ宮」駅東出口から北へ徒歩約7分



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-3687 FAX.06-6929-7099
<http://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/>





高い専門性と
幅広い視野を持ち
全人的な医療を実践する
明日の「総合臨床医」へ。

大阪市民病院機構は、大阪市の中核病院として、
市民に信頼され地域に貢献する
医師の育成をめざしています。
高度に専門分化した診療科で専門性を高めることも、
多くの症例を経験し、全人的に診療できる基礎的な
臨床能力を身につけることもできます。
当機構でこれからの医療と一緒に築いていきましょう。



社会とともに
地域のために



大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、
人間味あふれる温かな
医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心で信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、
医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、
地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます



CHALLENGE
常に問題意識を持ち変化をおそれずに目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION
病院で働くすべての職員と協力し課題解決にあたる人

CREATIVE
既存の方法・慣習にとらわれることなく自由な発想で仕事ができる人

MESSAGE

臨床医として研修を送る医師たち。
そのメッセージをご紹介します。



手厚い指導が受けられ、
医師としての自信がつけます。

初期研修医 勤続2年目

倉員 啓太さん
大阪大学 平成30年卒業

医学生時代、自分が医師として現場に立つことを想像して、大きな不安を感じることもありました。そうした不安を払拭すべく、研修病院を選ぶに際しては指導体制の充実を重要視し、当院を志望しました。実際に当院での研修を受けて、指導の手厚さを実感しています。例えば救急当直では、2次3次を問わず、指導医のバックアップのもと、鑑別や必要な検査、治療を考えます。手技は研修医ファーストで行うことができ、フィードバックも常にいただけるので、とても大きな経験値になります。その他にも、様々な大学から集まった楽しい同期との交流や、指導医の先生の工夫がなされたレクチャーなど、魅力を挙げればきりがありません。一人前の医師になるために、当院を選んで正解だったと確信しています。ぜひ一緒に頑張りましょう。

どれほど難しい症例でも
各科が連携し適切な治療を導き出せる環境。

専攻医(小児科) 勤続2年目

瀬尾 尚史さん
大阪市立大学 平成28年卒業

中規模市中病院で初期研修を行った私は一般小児医療しか知らず、重症例を見たことがありませんでした。専門科へ進むにあたり、重症疾患や教科書だけで知っていた希少疾患も経験でき、また連携施設で一般小児医療の知識も深めることができる当センターのプログラムに魅力を感じました。現在は小児科専攻医として小児内科系の各専門科をローテートしています。尊敬する先生方の下で多様な疾患の診療に携わり、充実した研修生活を送っています。印象深かったのは、非常に稀な疾患の治療に難渋した際に、成人科の先生に意見を伺い、新たな治療方針を見いだせたこと。小児科だけでなく成人科も充実している当院だからこそ成しえた診療でした。こうした素晴らしい環境で、子どもたちの幸せのために、一緒に働ける日を心待ちにしています。

重症だった患者さんが笑顔に
その瞬間、頑張る力が湧いてきます。

救命救急部・シニアレジデント 勤続3年目

吉野 智美さん
福井大学 平成22年卒業

元々は地元で小児科医として働いていました。そのなかで、重症小児患者さんの診療を学びたいと考えるようになり、初期診療も集中治療も経験可能な当院での研修を希望しました。初期診療では大人、子どもに関わらず、3次救急症例を学んでいます。病棟では成人の集中治療から重症小児患者さんの入室まで携わっています。PICUへの院内研修の希望も叶い、研鑽を積み日々を送っています。特に働きがいを感じるのは、意識のなかった患者さんが笑顔になったり、歩けるようになったりする姿を見たときや、退院の際にお手紙をいただいたときです。当院は各科の垣根が低く、いつでもどの科にでもコンサルトがしやすいことが特徴です。「同期会」で同じ年代の医師と交流をもてるのも魅力に感じています。一緒に仕事ができる仲間を、お待ちしております。

多種多様な手術を経験して
着実にレベルアップできる環境です。

消化器外科・レジデント 勤続3年目

菊地 拓也さん
弘前大学 平成27年卒業

私が総合医療センターでの研修を希望したのは、手術の件数や種類が多く、高度な手術からcommon diseaseまで幅広く経験できると考えたからです。実際、小児外科の大きな手術など、なかなか入る機会のない手術も経験しました。また、ICUや救急など他科での研修も設けてもらえるので、手術に限らず外科において必要な知識を学ぶことができる点にも惹かれました。当院の魅力は、高度に専門分化しているため、何か困ったことがあった際に専門家の意見をすぐに聞けることだと思います。さらに、先生方も教育熱心で、レジデント同士の仲も良いので、いい雰囲気の中で働くことができます。業務は大変ですが、やりがいがあります。日々の仕事をこなしていけば、自然と成長できるはずですよ。ぜひ一度見学に来てください。

初期 臨床研修



どの専門分野にも求められる臨床能力を身につける

初期臨床研修では、医師としての基盤を形成する重要な時期に、将来専門とする分野にとらわれることなく診療できる臨床能力を身につけることが重要であると考えています。初期臨床研修は、高度に専門化した各診療科を備える総合医療センターが中心となり各研修協力施設

と連携しながら、専門医療だけでなく医師としての基本的臨床能力の確実な習得を図ることで、全人的医療を実践することができる幅広い視野を持った総合臨床医の育成をめざしています。

初期
研修
3
POINT

1 | 豊富な症例数

市中病院でありながら、54の診療科を有し、大学病院並みの症例数を誇る当院での初期研修は一般的な疾患から、専門医療を要する疾患まで、幅広く経験することが可能です。

2 | 充実した指導体制

当院には指導医養成講習会を受けた指導医が60名おり、各科に経験豊富な指導医が揃っています。また、看護部門をはじめとした、コメディカル部門の協力も得ながら、病院全体で研修医の養成にあたっています。

3 | 質の高い研修環境

年間約200件以上開催される各種講座、専門分野の医師・技師の指導による実習、学会発表のサポートなど、十分研修できる機会を設け、医療情報の入手環境の整備を行うなど、質の高い研修の提供に努めています。

INTERVIEW



教育研修センター
副部長

清水 貞利さん

医師としての基礎を固め将来を切り拓いてください。

大阪市民病院機構では、総合医療センターを中心に、専門的な対応が必要な疾患から日常よくみられる疾患にいたるまで数多くの症例の診療が行われており、豊富な臨床経験を積むことが可能です。われわれ教育研修センターは、一人ひとりがより充実した研修生活を送っていただけるように、研修医の身近な存在として2年間の研修生活をサポートしています。多くの診療科が新専門医制度における基幹施設となっており、各診療科の教育・指導体制は盤石です。しかも、診療科間の垣根が低く、各科の専門医に対して、

気軽に相談が可能であることも特筆すべき点です。また、じっくり勉強できる機会も多く設けており、症候学や診断学のレクチャーをはじめ、気管内挿管や中心静脈穿刺、縫合手技、超音波実習など、日常診療に役立つ様々な実技講習会を、年間通じて開催しています。初期臨床研修は、医師としての第一歩であると同時に、医師の資質を育み、将来の方向性を決定するための、最も重要な時期であると考えています。忙しさの中にもやりがいを感じながら、楽しく活気あふれた環境で、思う存分研鑽を積んでいただきたいと思っております。

研修プログラム

総合医療センターでは、各科の到達目標の特殊性を考慮して、内科(24週)、救急科(12週)、外科(8週)、麻酔科、産科、小児科、精神科、地域医療(各4週)を必修としています。これらの科は研修の内容を配慮し、経験しておくべき科であると考えたことに加え、将来どのような科を専攻するとしても、残りの選択期間(40週)で十分な症例数を研鑽できることが大きな理由です。

高度に細分化・専門化されている当センターですが、医師として経験すべき初期対応能力の重要性も十分認識し、バランスの良い研修を提供するよう努力しています。また、チーム医療の意義を自覚してもらうため、看護部門をはじめとしたコメディカル部門との交流も重視し、幅広い視野を持った研修医の育成を行っています。

研修プログラム(2020年度)

必須科目 8科目/計64週	<input type="radio"/> 内科(24週) 10科から3科を選択 総合診療科、糖尿病内科・内分泌内科、腎臓・高血圧内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科・肝臓内科、血液内科、感染症内科、神経内科、初期急病診療部 <input type="radio"/> 救急科(12週) <input type="radio"/> 地域医療(4週) 研修協力施設 「国民健康保険日南病院(鳥取県)」 「高浜町和田診療所(福井県)」 「公立穴水総合病院(石川県)」 「公立豊岡病院朝来医療センター(兵庫県)」 「公立豊岡病院日高医療センター(兵庫県)」 「公立豊岡病院出石医療センター(兵庫県)」 「公立浜坂病院(兵庫県)」/「公立香住病院(兵庫県)」 「公立村岡病院(兵庫県)」/「隠岐広域連合立隠岐病院(島根県)」 「地域包括ケアセンター(大阪府)」 「訪問看護ステーション(大阪府)」 「大阪府内のクリニック」 <input type="radio"/> 麻酔科(4週) <input type="radio"/> 小児科(4週) <input type="radio"/> 精神科(4週) <input type="radio"/> 産科(4週) <input type="radio"/> 外科(8週)
選択科目 40週	<input type="radio"/> 当施設に設置のすべての診療科の中から選択

研修診療科の選択

研修診療科の選択は、選択科を含め、各研修医の希望を考慮しながら決定します。研修の期間は4週単位で当該診療科と調整のうえで設定します。また研修の時期は2年次に小児科、精神科、地域医療研修を行う以外は診療科と研修医のバランスを考慮しながら、調整を行います。なお、地域医療研修はへき地医療研修施設を含め、大阪府内のクリニックで研修するコースもあります。



研修スケジュール(例)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科(24週)						麻酔科(4週)	救急科(12週)			外科(8週)	産科(4週)	
2年次	小児科(4週)	精神科(4週)	地域医療(4週)	選択科(40週)									

後期 臨床研修



後期臨床研修でなにを学ぶか。

後期研修の役割は、初期研修で修得した基本的臨床能力を基盤に、高度な専門性により幅広い臨床能力を身につけることだと考えています。総合医療センターを中心にすべての診療科で高度専門医療から地域密着型医療に至るまで幅広い診療を行っているため、高度な専

門性と総合的な診療能力双方の習得が可能です。また、多数の専門医の研修指定施設に認定され、全国トップレベルの症例の豊富さと多様さを誇ることから、効率よく専門医資格を取得することが可能です。

後期
研修
3
POINT

1 | 豊富な症例数

大学病院並みの症例数を有しており、多くの症例を経験できます。大半の領域で1-2年で専門医資格取得のために必要な症例数が確保でき、早い段階からサブスペシャリティを意識した研修が可能です。

2 | 魅力的な研修環境

専門知識を有する指導医が数多く在職しているため、安心して研修ができます。また、様々な専門資格を有した医師以外の医療スタッフが在職しているため、専門分野に限らず幅広い知見を得ることができます。

3 | 将来を見据えた研修が可能

当院は13の基本領域で基幹施設の認定を受けていますが、サブスペシャリティ領域でも多くの領域で基幹施設として申請する予定です。そのため、キャリアパスに応じた柔軟な研修が可能となります。

INTERVIEW

臨床能力に不可欠な「人間性」も磨いてください。



教育研修センター長

川崎 靖子 さん

研修生活全般のサポートを行う教育研修センターはどんな悩みも相談できる体制が整っており、毎年全国の大学や研修病院から情熱にあふれた若手医師を数多く受け入れています。医局には診療科の垣根を越えて研修医が集い、活発なコミュニケーションを図れるのも大阪市民病院機構の大きな特色のひとつ。症例の相談だけでなく悩みや

夢を語り合い、医師として力強く歩んでいただきたいと思っています。後期研修をどう過ごすかで、その後の臨床能力が決まるといっても過言ではありません。高度医療の研鑽とともに、全人的医療、チーム医療で力を発揮できる人間性豊かな医師に成長してください。一緒に学んでいきましょう。

基本領域研修プログラム

平成30年度より新専門医制度における各科の専門研修プログラムに沿った後期研修を行っています。総合医療センターでは、19の基本領域のうち13の領域において基幹施設としての認定を受けており、

各領域とも連携施設との連携を図りながら、専門医資格の確実な取得に向け充実した研修プログラムを提供します。

研修プログラム ※下記は一例であり、各専攻医の希望に基づき決定します。

領域	診療科	研修期間	専攻医				連携施設等						
			1年目 (卒後3年目)	2年目 (卒後4年目)	3年目 (卒後5年目)	4年目 (卒後6年目)							
内科	総合診療科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府立十三市民病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●大阪市立弘済院附属病院 ●医療法人藤井会 石切生喜病院 ●国立循環器病研究センター ●社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会中津病院 ●淀川キリスト教病院 ●公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 ●関西電力病院 など 						
	初期急病診療部												
	感染症内科												
	糖尿病内科												
	内分泌内科												
	腎臓・高血圧内科												
	神経内科												
	循環器内科												
	呼吸器内科												
	消化器内科												
	肝臓内科												
	腫瘍内科												
	血液内科												
緩和医療科													
呼吸器外科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府立十三市民病院 ●国立病院機構 大阪医療センター ●公立豊岡病院 但馬救命救急センター ●随岐広域連立臨岐病院 							
心臓血管外科													
消化器外科													
肝胆膵外科													
乳腺外科													
小児外科													
小児心臓血管外科													
産婦人科							産科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府立十三市民病院 ●泉大津市立病院 ●医療法人藤井会 石切生喜病院 など 	
婦人科													
麻酔科							麻酔科	4	総合医療センター		総合医療センター または十三市民病院	総合医療センター または連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸市立医療センター中央市民病院 ●大阪府立十三市民病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●奈良県立医科大学附属病院 など
小児科							小児総合診療科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●中野こども病院 ●大阪急性期・総合医療センター ●耳原総合病院 など
							小児代謝・内分泌内科						
							小児血液腫瘍科						
	小児神経内科												
	小児循環器内科												
	小児不整脈科												
小児救急科													
新生児科													
精神科	精神神経科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立大学医学部附属病院 ●総合病院 浅香山病院 ●天心会 小阪病院 ●社会医療法人北斗会 さわ病院 など 						
	児童青年精神科												
整形外科	整形外科	4	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立大学医学部附属病院 ●社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会中津病院 ●淀川キリスト教病院 ●独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 ●大阪府立十三市民病院 など 						
	小児整形外科												
眼科	眼科	4	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府立十三市民病院 ●枚方公済病院 ●関西電力病院 ●京都大学医学部附属病院 など 						
	小児眼科												
救急科	救命救急部	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立大学医学部附属病院 ●社会医療法人愛仁会 高槻病院 ●関西労災病院 ●社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院 ●りんくう総合医療センター など 							
形成外科	形成外科	4	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	連携施設	<ul style="list-style-type: none"> ●きつこう会 多根総合病院 ●社会医療法人生長会 府中病院 ●宝生会 PL病院 ●八尾徳洲会総合病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●株式会社互恵会 大阪回生病院 など 						
	小児形成外科												
病理	病理診断科	3	総合医療センター	総合医療センターまたは連携施設	総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府立十三市民病院 ●南大阪病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●社会医療法人愛仁会 高槻病院 など 							
臨床検査	中央臨床検査部	3	総合医療センター(週1回連携施設で研修)				<ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立大学医学部附属病院 						
総合診療	内科・小児科・救急	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ●公立豊岡病院朝来医療センター ●公立豊岡病院日高医療センター 							

[専門修練医]

サブスペシャリティ研修プログラム

専門研修プログラム修了者で、医師免許取得後5年以上の臨床経験を有した者が、より高度で専門的な知識や技能(サブスペシャリティ)の習得を行うため、各診療科に所属し、日々の診療業務に従事しながら

各分野のスペシャリストをめざします。また、専門領域の研鑽とともに、的確な判断・診療のできる指導者・チームリーダーとしての役割を果たせる能力の習得を図ります。

HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪府都島区都島本通2丁目13番22号 TEL:06-6929-1221

54の診療科を擁する、大阪市最大の中核病院。

18階建て、1,063床の大阪市内最大の中核病院です。高度急性期医療を提供する、「地域医療支援病院」でもあります。12の臓器別センター、54の診療科を擁し、医師は本務医251名、研修医174名で、全診療科に専門医を有しています。手術件数は全国12位の年間11,486件、全身麻酔では6,497件の全国5位で東京を除いては最多です。ダヴィンチ、ハイブリッド手術室もあり、新生児から高齢者までのあらゆる手術を行っています。がん医療では全国14か所の「高度型の地域がん診療連携拠点病院」、全国15か所の「小児がん拠点病院」、全国135か所の「がんゲノム医療連携病院」に選ばれ、小児から成人までの幅広い年齢層にがん診療を実施しています。小児医療では17の診療科・

154床からなる「小児医療センター」で高度専門的医療を提供しています。周産期医療では「総合周産期母子医療センター」、救急医療では「救命救急センター(3次救急)」と「小児救命救急センター」、また市内唯一の「感染症指定医療機関」でもあります。さらにスーパー ICU、PICU、SCU、HCUはもとより、緩和ケア病棟、AYA世代病棟、成人と小児それぞれの精神科病棟も有しています。また総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる「総合入院体制加算1」を取得しており、大学病院本院なみの医療機能を有する「DPC 特定機能病院」でもあります。日常診療以外にも、付属の「臨床研究センター」で臨床研究や治験に積極的に取り組んでいます。

高度専門的医療の提供

- 救命救急センター(3次救急)
- 小児救命救急センター
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 小児がん拠点病院
- 大阪府災害拠点病院
- 第一種・第二種感染症指定医療機関
- 総合周産期母子医療センター
- エイズ診療中核拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産婦人科診療相互援助システム基幹病院
- 新生児診療相互援助システム基幹病院
- 臨床研修指定病院(基幹型)
- 精神保健福祉法指定医療機関(緊急措置入院)
- 母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設
- がんゲノム医療連携病院



INTERVIEW

熱意ある若手医師を待っています。



大阪市立総合医療センター病院長

瀧藤 伸英 病院長

総合医療センターの大切な役割のひとつが「医療を支える人材の育成」です。地域医療を支えるのみならず、当院自身の将来を担えるような人材の育成に努めています。当院は91の学会認定研修・教育施設に認定されており、あらゆる診療科で幅広い研修の場を用意しています。初期臨床研修病院人気ランキングでも常に上位です。1000床規模の大病院ながら診療科間の垣根が低い点も好評。出身大学も様々です。

また当院は大阪市内中心部にあり、交通至便で周囲には見どころも多くあります。傍を流れる「大川(旧淀川)」は、春は兩岸の見事な桜並木と造幣局の「桜の通り抜け」、夏は日本三大祭りのひとつである「天神祭」の「船渡御(ふなとぎょ)」と花火大会が有名です。南には大阪城があり、USJも電車で直通です。ハードな研修の合間に楽しんでください! 熱意ある若手医師の皆さんを職員一同お待ちしております。

DATA

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳が尊重されるよう配慮するとともに良質な医療を平等に提供する。
2. 大阪市の中核病院として地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化し、市民の「健康と生命を守る最後の拠り所」として必要な医療を提供する。
3. 医療安全対策への取り組みや個人情報の保護など安心して医療を受けられる環境を整備する。
4. 感染症医療、救急医療、災害医療、小児・周産期医療、精神医療などの政策医療ならびに臓器・疾患別の専門医療を提供する。
5. 最新の医療機器を導入するとともに臨床に直結する研究を行い、その成果を医療現場に還元することで医療水準の向上を図る。
6. 医療従事者のスキルを向上させる仕組み、キャリアアップの仕組みを実践することで専門的な知識や高度な先端技術を備えた医療人を育成する。
7. 健全な経営基盤を確保し、継続して良質な医療を提供できる体制を整備する。

○大阪市立総合医療センター 3Hの理念

Heart For Public Service	広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。
Humane	人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。
High-Technology	高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

○病床数: 1,063床 ○診療科目: 総合診療科/糖尿病内科/内分泌内科/腎臓・高血圧内科/精神神経科/神経内科/皮膚科/循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/肝臓内科/感染症内科/腫瘍内科/血液内科/緩和医療科/外科/整形外科/泌尿器科/眼科/耳鼻咽喉科/婦人科/形成外科/口腔外科/脳神経外科/脳血管内治療科/心臓血管外科/呼吸器外科/消化器外科/肝胆膵外科/乳腺外科/産科/新生児科/小児総合診療科/小児代謝・内分泌内科/小児神経内科/小児循環器内科/小児不整脈科/小児血液腫瘍科/児童青年精神科/小児外科/小児整形外科/小児泌尿器科/小児眼科/小児耳鼻咽喉科/小児形成外科/小児脳神経外科/小児心臓血管外科/小児言語科/小児救急科/麻酔科/放射線診断科/放射線腫瘍科/病理診断科/リハビリテーション科

	すみれ病棟	さくら病棟	
	緩和医療科	18F 整形外科、糖尿病内科、内分泌内科 腎臓・高血圧内科	糖尿病・内分泌センター
がんセンター	腫瘍内科、血液内科	17F 血液内科、腫瘍内科	
	消化器内科、消化器外科	16F 消化器内科、消化器外科、 肝臓内科、肝胆膵外科	消化器センター
呼吸器センター	呼吸器内科、呼吸器外科、 腫瘍内科、皮膚科	15F AYA世代病棟	
腎センター	泌尿器科、腎臓・高血圧内科	14F 耳鼻いんご科、口腔外科、 形成外科、整形外科	
	眼科、糖尿病内科、神経内科	13F 整形外科	
循環器センター	腎移植・透析部、外来化学療法室	12F 脳神経外科、脳血管内治療科、 SCU、神経内科	脳神経センター
	循環器内科、心臓血管外科	11F 総合診療科、循環器内科、初期救急、 肝臓内科、肝胆膵外科	
感染症センター	感染症内科、総合診療科、小児救急	10F 婦人科、乳腺外科、腫瘍内科、 消化器内科、消化器外科	総合周産期母子医療センター
	産科、MFICU、新生児科	9F NICU、GCU	
	精神神経科	8F 児童青年精神科	
	小児科	7F 小児科	小児医療センター
	小児科	6F 小児科	

5F	患者図書室、わくわくひろば、コンビニエンスストア、医局	
4F	救命救急センター・集中治療センター・ICU・ECU・CCU・PICU・HCU	さくらホール
3F	手術センター、検査部門	
2F	外来診療部門、画像診断部門	
1F	外来診療部門、救命救急センター受付、ER・外傷センター、リハビリテーション部、カフェレストラン	
MB	設備スペース	エネルギーセンター
B1	核医学・放射線治療部門、物品管理供給部門、栄養部門	

HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立十三市民病院

〒532-0034 大阪府淀川区野中北2丁目12番27号 TEL:06-6150-8000

地域の中核病院としての急性期医療。

昭和24年開設。地域の中核病院として18の診療科を有し、専門医が質の高い医療を行い、急性期医療の充実に努めています。特色ある医療に関しては、平成25年3月に内視鏡センターを立ち上げ、外科系診療科については、ALTA硬化療法なども行っています。また、平成29年9月には高度急性期医療に対応するためHCU(5床)を開設しました。救急医療に関しては、内科系の2次救急医療を徐々に拡大し、平成30年4月からは全日実施しています。政策医療である結核医療に関しては、平成22年2月に北市民病院から結核病棟を移設し、さらに、平成25年10月に結核病棟を拡大し、39床へ増床、結核を含む呼吸器医療の提供をしています。今後も、地域の医療機関との連携を深めながら、幅広い医療を提供し、地域に根ざした医療を通じて、地域から信頼される病院として役割を果たしてまいります。



施設認定など

- 日本医療機能評価機構認定病院 ●救急告示病院(第2次救急医療機関) ●市町村災害医療センター
- 新生児診療相互援助システム協力病院 ●赤ちゃんにやさしい病院(BFH) ●臨床研修指定病院(協力型)

DATA

●大阪市立十三市民病院 基本理念

市民に信頼され、地域に貢献する病院をめざします。
人間味あふれる温かな医療を実践する患者中心の病院をめざします。
将来にわたり、市民の医療ニーズに応える病院をめざします。

- 病床数:263床 ●診療科目:総合診療科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/呼吸器内科/小児科/消化器内科/外科/消化器外科/整形外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/麻酔科/放射線科/リハビリテーション科/病理診断科

9F	すかいルーム・ヘリポート
8F	病棟(結核病棟)
7F	病棟(糖尿病内科、整形外科、眼科)
6F	病棟(消化器内科、外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科)、HCU
5F	病棟(内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科)
4F	病棟(新生児未熟児室、産科、婦人科、小児科)
3F	手術室、中央材料室
2F	外来診療室、中央臨床検査部
1F	入院外来受付、外来診療室、リハビリ室、放射線科、薬剤部
B1	内視鏡センター、栄養部、機械室

INTERVIEW



大阪市立十三市民病院
病院長

西口 幸雄 病院長

基本的な症例をしっかり学び医師としての確かな力を。

十三市民病院は、263床の地域に密着した急性期病院です。現在18の診療科を有し、多くの専門医が質の高い医療を行い、急性期医療の充実に努めています。当院が扱う疾患は、がんをはじめ糖尿病、高血圧、腎臓病など一般的な病気です。がんについては、腹腔鏡手術も取り入れ、低侵襲で根治できる治療を行っています。上部・下部内視鏡検査、ポリヘクトミー、EMR、ESD、ERCPなど、内視鏡研修がしやすい環境も整えており、短期間での上達が可能です。それぞれの科に専門医がいますので、専門的な治療も最

新の治療法も、ほぼ1対1で学べます。外科では、がんだけでなく、ヘルニア、胆石、虫垂炎などのポピュラーな病気の執刀も多くあります。内科、産科、婦人科、整形外科そのほかの診療科についても様々な症例を学ぶことができ、救急症例も経験できます。これらの急性期医療を担っていく研修医の皆さんは、多くの疾患と向き合い、専門医から十分な指導を受ける必要があります。キャリアの初期段階で、日常遭遇するあらゆる症例が経験可能な十三市民病院で研修を行うことは、きっと将来に役立つでしょう。熱意のある医師を、大いに歓迎いたします。

PICK UP! 教育研修センター



2018年度
臨床教育研修講座

216回

閲覧可能な
電子ジャーナルのタイトル

5,000以上

病院の理念を実践できる人材の育成を。

医師をはじめとした医療専門職が、それぞれの専門性を高めることを支援するために、総合医療センターに教育研修センターを設置しています。教育研修センターは、基本理念を「医療全般にわたる知識・技術を身につけ、人間味あふれる温かな医療を実践するにふさわしい医療人の育成をめざす」としています。そのために、医師、看護師および事務職員を配置し、研修生活全般のサポートを行っています。初期研修医の教育・育成に関しては、臨床の場ですぐに必要となる幅広いテーマについて、経験豊富な専門医やコメディカル部門の協力を得て臨床教育研修講座を開催し、研修の質向上に努めています。2018年度は216回の臨床教育研修講座を開催しました。また、個人面談を通じて研修状況を詳しく把握しています。

後期臨床研修に関しては、総合医療センターは19の基本領域中13領域で基幹施設となっています。そのため、各領域の担当診療科と常に情報を共有するとともに、研修管理委員会等の開催を通じて、各領域専門研修プログラムの管理と改善に取り組んでいます。また、臨床研修においては、最新の医学情報を迅速かつ容易に入手できる環境が不可欠です。そのため、教育研修センターでは図書室の運営も行っています。現在、閲覧可能な電子ジャーナルのタイトルは5,000以上あり、UpToDateなどの臨床支援ツールも導入しています。今後も研修医の皆さんにとってより良い環境を提供していくために、各部門・各診療科と連携し、改善を続けていきます。



Q & A

Question & Answer

Q | 出身大学は？

(2019年4月現在)

A | 初期研修医では、大阪市立大学、滋賀医科大学、和歌山県立医科大学、近畿大学、川崎医科大学などを卒業された方が在籍しており、後期研修医では、大阪市立大学、和歌山県立医科大学、大阪医科大学、兵庫医科大学、奈良県立医科大学、徳島大学、大阪大学、神戸大学、近畿大学、京都府立医科大学などの全国の医系大学出身の方が在籍しています。

Q | 研修環境について教えてください。

A | 各病院内に医局及び図書室を設置しています。また医師宿舎を総合医療センターの隣接地に設置しています。医師宿舎は2棟で計48室あります。入居は初期研修医を優先としていますが、空室があれば後期研修医の利用も可能です。



医師宿舎の間取り例

Q | 女性医師は何名在籍していますか？

(2019年4月現在)

A | 市民病院機構全体でスタッフ65名、初期研修医21名、後期研修医56名の女性医師が在籍しています。女性の指導医も多く、親身になって相談にも応じていますので、女性の方も安心して研修を受けることが可能です。

【初期研修医男女比】

【後期研修医男女比】



Q | 育児制度はありますか？

A | 総合医療センターの隣接地(医師宿舎の1階)に、院内保育所を設置しています。また、産前・産後休暇や、子どもが急病の時などに取得が可能な、子の看護休暇、育児休業、部分休業、早出・遅出勤務の制度を設けています。



●基本保育時間

- 一般保育(月・水・木・土) — 07:30~20:30
- 一般保育(火・金) — 07:30~21:30
- 準夜保育(水・土) — 15:00~翌01:30
- 夜間保育(水・土) — 23:00~翌10:30
- 一時保育(月~土) — 07:30~20:30
- 日曜保育 — 07:30~20:30

そのほか、よく寄せられるご質問については、WEBサイトでご回答しております。
<http://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/initial/about-2/>



学会等による施設認定の状況 (2019年4月現在) ●病院名 | 総合…総合医療センター / 十三…十三市民病院

学会等名称	施設認定内容	病院名	
		総合	十三
日本内科学会	認定医制度教育病院	●	
	認定医制度教育関連病院		●
日本小児科学会	専門医研修施設	●	●
	研修施設	●	
日本皮膚科学会	認定研修施設	●	
日本精神神経学会	精神科専門医制度研修施設	●	
日本外科学会	外科専門医制度施設	●	●
日本整形外科学会	認定医制度研修施設	●	●
日本産科婦人科学会	専門医制度専攻医指導施設	●	●
日本眼科学会	専門医制度研修施設	●	●
	専門医制度眼科研修プログラム施行施設	●	
日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設	●	
日本泌尿器科学会	専門医教育施設	●	●
日本脳神経外科学会	専門医研修プログラム基幹施設	●	
日本医学放射線学会	放射線科専門医総合研修機関	●	
日本麻酔科学会	研修施設	●	
	認定病院		●
日本病理学会	研究認定施設B	●	
	専門医研修プログラム基幹施設	●	
日本臨床検査医学会	認定研修施設	●	
日本救急医学会	指導医指定施設	●	
	救急科専門医指定施設	●	
日本形成外科学会	認定医研修施設	●	
日本リハビリテーション医学会	研修施設	●	
日本消化器病学会	専門医制度認定施設	●	●
日本循環器学会	認定循環器専門医研修施設	●	
日本呼吸器学会	認定施設	●	●
日本血液学会	認定医血液研修施設	●	
日本内分泌学会	認定教育施設	●	
日本糖尿病学会	認定教育施設	●	●
	連携教育施設(小児科)	●	
日本腎臓学会	認定研修施設	●	
日本肝臓学会	認定医制度認定施設	●	●
日本アレルギー学会	アレルギー専門医教育施設	●	
日本感染症学会	認定研修施設	●	
日本神経学会	専門医制度認定教育施設	●	
日本消化器外科学会	専門医制度指定研修施設	●	●
	学会連携施設	●	
日本呼吸器外科学会	専門医制度基幹施設	●	
日本小児外科学会	認定医制度認定施設	●	
日本小児神経学会	小児神経専門医研修施設	●	
日本消化器内視鏡学会	専門医制度指導施設	●	
日本大腸肛門病学会	認定施設	●	●
日本周産期・新生児医学会	母体・胎児・新生児認定基幹施設	●	●
	専門医制度暫定研修施設	●	
日本超音波医学会	専門医制度暫定研修施設	●	●
	専門医研修施設	●	
日本集中治療医学会	専門医研修施設(集中治療室)	●	
	専門医研修施設(救命救急センター)	●	
日本透析医学会	認定施設	●	
日本臨床腫瘍学会	認定研修施設	●	
日本臨床細胞学会	認定施設	●	
	教育研修施設	●	
	コントロールサーベイ参加施設	●	

学会等名称	施設認定内容	病院名	
		総合	十三
日本てんかん学会	てんかん専門医制度認定研修施設	●	
日本インターベンショナルラジオロジー学会	専門医・指導医研修施設	●	
日本脳神経血管内治療学会	認定研修施設	●	
日本肝臓外科学会	高度技能専門医研修施設	●	
日本乳癌学会	認定医・専門医制度認定施設	●	
日本高血圧学会	高血圧認定研修施設	●	
日本手外科学会	研修施設	●	
日本心血管インターベンション治療学会	認定研修施設	●	●
日本呼吸器内視鏡学会	認定施設	●	●
日本口腔外科学会	研修施設	●	
日本婦人科腫瘍学会	指定研修施設	●	●
日本静脈経腸栄養学会	栄養サポートチーム(NST)稼働施設	●	●
	実地研修施設	●	
	教育施設	●	
日本熱傷学会	熱傷専門医認定研修施設	●	
日本頭頸部外科学会	頭頸部がん専門医研修認定施設	●	
日本小児循環器学会	専門医研修施設	●	●
日本がん治療認定医機構	認定研修施設	●	●
マンモグラフィ検診制度管理中央委員会	検診画像認定施設	●	●
日本緩和医療学会	認定研修施設	●	
日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会	臨床遺伝専門医制度研修施設	●	●
日本総合病院精神医学会	一般病院連携精神医学専門医研修施設	●	●
日本外科周術期感染管理教育施設	外科周術期感染管理教育施設	●	
日本脈管学会	認定研修指定施設	●	
日本核医学会	専門医教育病院	●	
日本脳卒中学会	認定研修教育病院	●	
胃腸科指導施設	胃腸科指導施設	●	●
日本産科婦人科内視鏡学会	認定研修施設	●	
日本甲状腺学会	認定専門医施設	●	
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構	心臓血管外科専門医認定基本施設	●	
日本心臓血管麻酔学会	認定施設	●	
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	ストーマ認定施設	●	
日本不整脈心電学会	認定不整脈専門医研修施設	●	
日本リウマチ学会	教育施設	●	
日本食道学会	食道外科専門医認定施設	●	
日本病院総合診療医学会	認定施設	●	
日本脊椎脊髄病学会	脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設	●	
一般社団法人大阪府医師会	指定医師研修機関	●	
日本腹部救急医学会	腹部救急認定区教育医制度認定施設	●	●
日本胆道学会	認定指導医制度指導施設		●
	指導施設		●
日本小児血液・がん学会	専門医研修施設	●	
日本小児感染症学会	指導医教育研修プログラム施設	●	
日本胸部外科学会	教育基幹施設	●	
日本アフェレンス学会	認定施設	●	
日本急性血液浄化学会	認定指定施設	●	

病院見学会 (要予約)

納得のいく臨床研修にしたいと思う方はぜひお越しください。

初期研修については、医学部5回生・6回生を対象とした病院見学会を開催しています。開催日程等については、大阪市民病院機構ホームページをご覧ください。後期研修の病院見学会については、随時受け付けております。



日程、対象者など詳しい情報はこちらからご確認ください。
<http://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/practice/h31/>

